

令和7年度								工 事 仕 様 書							
工 事 名		水角地内用水路補修工事													
工 事 場 所		春日部市水角地内													
路 河 川 名 称															
事 業 名															
工 事 大 要		施工延長 L=25.3m コンクリート柵板設置 L=35.6m													

案内図



施工箇所

工事名：水角地内用水路補修工事
工事場所：春日部市水角地内

100m
1:2,000

変 更 理 由							
備 考							
地 区	(0001) 県南	労務費補正	1. 00	機械経費(賃料)補正	1. 00		
単価適用年月	(R0710) 令和07年10月						
工 期	当 初	自		至	令和 8 年 2 月 27 日		
		日 数					
	変 更				至		
経費適用年月	令和07年10月						
主たる工種	河川維持工事						
施 工 地 域	一般交通影響有り (2) -2						
設 計	当 初 金 額			変 更 金 額			
	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
請 負	工事価格						
	消費税相当額						
	合計						
	請負増減額						
週休2日区分	採用しない						

本 工 事 費 内 訳 書

工事区分	工種	種別	細別・規格	数	量	単 位	単 価	金 額	摘 要
河川維持・修繕						式			
				1					
_ 河川修繕						式			
				1					
_ _ 河川土工						式			
				1					
_ _ _ 土工						式			
				1					
_ _ _ _ 掘削						m3			第1号一位代価表
				10					
_ _ _ _ 埋戻し						m3			第2号一位代価表
				10					
_ _ _ _ 残土処分						m3			第3号一位代価表
				10					
_ _ 護岸補修工						式			
				1					
_ _ _ コンクリート柵板設置工						式			
				1					
_ _ _ _ H形鋼建込(2500)						本			第4号一位代価表
				19					
_ _ _ _ コンクリート柵板設置(300)						m			第5号一位代価表
				19					

本 工 事 費 内 訳 書								
工事区分 工種 種別 細別・規格				数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
――― 吸い出し防止材設置					m2			第6号一位代価表
				17				
――― H形鋼建込(1500)					本			第7号一位代価表
				17				
――― コンクリート柵板設置(400)					m			第8号一位代価表
				16				
―― 撤去工					式			
				1				
――― 構造物撤去工					m3			第9号一位代価表
				1				
―― 舗装工					式			
				1				
―― 間詰め舗装工					式			
				1				
――― 上層路盤					m2			第10号一位代価表
				20				
―― 【交通誘導警備員】					式			
				1				
―― 【交通誘導警備員】					式			
				1				
――― 【交通誘導警備員】					式			
				1				

本 工 事 費 内 訳 書								
工 事 区 分 工 種 種 別 細 別 ・ 規 格				数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
— — — 交通誘導警備員B					人日			第11号一位代価表
— 直接工事費					式			
				1				
— 共通仮設費計					式			
				1				
— 共通仮設費（率分）					式			
				1				
— 純工事費					式			
				1				
— 現場管理費					式			
				1				
— 工事原価計					式			
				1				
— 一般管理費等					式			
				1				
工事価格					式			
				1				
— 消費税相当額					式			
				1				
工事費合計					式			
				1				

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、受注者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

経 費 根 拠 書		
項 目	内 訳	率 / 金額
◆経費計算情報		
経費適用年月	令和07年10月	
主たる工種	河川維持工事	
施工地域	一般交通影響有り (2) -2	
除雪工事補正	補正なし	
前払金支出割合	前払金の保証なし	
契約保証の方法	金銭的保証	
工場管理・間接労務	計上しない	
技術者間接費	計上しない	
機器管理費	計上しない	
間接工事費率補正（任意乗算補正）		
共通仮設費率補正	1.00	
現場管理費率補正	1.00	

第1号一位代価表

掘削

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
掘削		m3			第1号施工P
土砂, 上記以外(小規模), 小規模(標準)	100				
合 計		m3			
	(1		当り		

第2号一位代価表

埋戻し

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
埋戻し		m3			第2号施工P
上記以外(小規模), 土砂, 全ての費用	100				
石灰改良土		m3			
最大粒径20mm 締固換算値1.25	125				
合 計		m3			
	(1		当り		

第3号一位代価表

残土処分

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土砂等運搬		m3			第3号施工P
小規模, バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3), 土砂(岩塊・玉石混り土含む), 有り, 11.0km以下	100				
建設発生土受入費(石灰)		m3			
(第4種建設発生土) 地山	100				
合 計		m3			
	(1		当り		

第4号一位代価表

H形鋼建込(2500)

1.000 本 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
H形鋼建込		本			第1号特殊施工
	1				
H形鋼 H100*100*2500		本			
	1				
合 計		本			

第5号一位代価表

コンクリート柵板設置(300)

10.000 m 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
コンクリート柵板設置		m			第2号特殊施工
	10				
コンクリート柵板 995*300*60		枚			
	30				
合 計		m			
	(1		当り		)

第6号一位代価表

吸い出し防止材設置

100.000 m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
吸い出し防止材設置		m2			第4号施工P
	100				
合 計		m2			
	(1		当り		)

第7号一位代価表

H形鋼建込(1500)

1.000 本 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
H形鋼建込		本			第1号特殊施工
	1				
H形鋼 H100*100*1500		本			
	1				
合 計		本			

第8号一位代価表

コンクリート柵板設置(400)

10.000 m 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
コンクリート柵板設置		m			第2号特殊施工
	10				
コンクリート柵板 995*400*60		枚			
	10				
合 計		m			
	(1		当り		

第9号一位代価表

構造物撤去工

100.000 m3 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
構造物とりこわし		m3			第1号施工表
無筋構造物, 機械施工, 無し, 無し, 必要	100				
殻運搬		m3			第5号施工P
コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 無し, 3.3km以下, 全ての費用	100				
廃材持込料		t			
区分 越谷県土整備事務所 適用区分 Co廃材[無筋]	235				
合 計		m3			
	(1		当り		

第10号一位代価表

上層路盤

100.000 m2 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
上層路盤(車道・路肩部)		m2			第6号施工P
再生粒度調整碎石 RM-40, mm, mm, mm, 120 mm, 1層施工, 全ての費用	100				
合 計		m2			
	(1		当り		

第11号一位代価表

交通誘導警備員B

100.000 人日 当り

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
交通誘導警備員B		人			
合 計		人日			
	(1		当り		

第 0001 号 一位代価表(施工歩掛表) 構造物とりこわし 1.00 m3 当り

(WB824010)

名 称 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
無筋構造物【構造物とりこわし】 昼間 機械施工 制約無	1.000	m3			
諸雑費（まるめ）	1.000	式			
合 計	1	m3	当り		

	条件名称	入力名称
J01	構造物区分	無筋構造物
J02	工法区分	機械施工
J03	時間的制約の有無	無し
J04	夜間作業の有無	無し
J05	低騒音・低振動対策	必要

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き] 山積0.28m3(平積0.2m3)1.7t吊	日				
諸雑費 (率のみ)	式				
		1			
合 計	1	本	当り		

第 0002 号 一位代価表(特殊施工単価) コンクリート柵板設置
PJ0020

10.000 m 当り

名 称 / 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役	人				
特殊作業員	人				
普通作業員	人				
バックホウ(クローラ)[標準・クレーン機能付き] 山積0.28m3(平積0.2m3)1.7t吊	日				
諸雑費 (率のみ)	式				
		1			
合 計	1	m	当り		

第 0001 号 一位代価表(施工P構成表) 掘削

1 m3 当り

(CB210100)

施工P(機26.010%, 労62.890%, 材11.100%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ)[標準] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		26.01		K1
運転手(特殊)		62.89		R1
軽油		11.1		Z1
積算単価		標準単価		

条件名称
J01 土質
J02 施工方法
J05 施工数量

入力名称
土砂
上記以外(小規模)
小規模(標準)

第 0002 号 一位代価表(施工P構成表) 埋戻し

1 m3 当り

(CB210410)

施工P(機 8.870%, 労87.150%, 材 3.980%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
バックホウ(クローラ)[後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		8.27		K1
ランマ 質量60～80kg		0.6		K2
普通作業員		50.03		R1
特殊作業員		19.35		R2
運転手(特殊)		17.77		R3
軽油		3.14		Z1

ガソリン レギュラー		0.84		Z2
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	施工方法	上記以外(小規模)
J02	土質	土砂
J04	費用の内訳	全ての費用

第 0003 号 一位代価表(施工P構成表) 土砂等運搬 1 m3 当り

(CB210110) 施工P(機20.250%, 労71.030%, 材 8.720%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級		20.25		K1
運転手(一般)		71.03		R1
軽油		8.72		Z1
積算単価		標準単価		

	条件名称	入力名称
J01	土砂等発生現場	小規模
J02	積込機種・規格	バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3)
J03	土質	土砂(岩塊・玉石混り土含む)
J04	DID区間の有無	有り
J16	運搬距離(km)(DID区間有)	11.0km以下

第 0004 号 一位代価表(施工 P 構成表) 吸出し防止材設置

1 m2 当り

(CB224720)

施工 P (機 0.000%, 労 22.120%, 材 77.880%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
普通作業員		18.8		R1
土木一般世話役		3.32		R2
吸出し防止材 合繊不織布 t=10mm 9.8kN/m		77.88		Z1
積算単価		標準単価		

条件名称

入力名称

第 0005 号 一位代価表(施工 P 構成表) 殻運搬

1 m3 当り

(CB227010)

施工 P (機 40.770%, 労 44.820%, 材 14.410%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級		40.77		K1
運転手(一般)		44.82		R1
軽油		14.41		Z1
積算単価		標準単価		

J01 条件名称
殻発生作業
J02 積込工法区分
J03 DID区間の有無
J04 運搬距離(km)(DID区間有無)
J13 費用の内訳

入力名称
コンクリート(無筋)構造物とりこわし
機械積込
無し
3.3km以下
全ての費用

第 0006 号 一位代価表(施工P構成表) 上層路盤(車道・路肩部)

1 m2 当り

(CB410040)

施工P(機11.570%, 労37.080%, 材51.350%, 市 0.000%)

名 称 / 規 格	埼 玉 単 価	構 成 比 (%)	東 京 単 価	摘 要
モータグレーダ[土工用] 排出ガス対策(2014年規制)ブレード幅3.1m		7.99		K1
ロードローラ[マカダム] 運転質量10～12t		1		K2
タイヤローラ[普通型] 運転質量13～14t		0.99		K3
運転手(特殊)		16.31		R1
普通作業員		5.97		R2
特殊作業員		5.32		R3
土木一般世話役		4.37		R4
再生粒度調整碎石 RM-40		47.84		Z1
軽油		3.03		Z2
積算単価		標準単価		

条件名称
 J01 材料
 J06 全仕上り厚(実数入力)
 J07 施工区分
 J09 費用の内訳

入力名称
 再生粒度調整碎石 RM-40
 120 mm
 1層施工
 全ての費用

積 算 条 件 一 覧 表

単価表番号	名 称 / 規 格	単 位	単 価	摘 要
第0001号施工表	構造物とりこわし 無筋構造物，機械施工，無し，無し，必要	m3		WB824010
第0001号施工P	掘削 土砂，上記以外(小規模)，小規模(標準)	m3		CB210100
第0002号施工P	埋戻し 上記以外(小規模)，土砂，全ての費用	m3		CB210410
第0003号施工P	土砂等運搬 小規模，バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3)，土砂(岩塊・玉石混り土含む)，有り，11.0km以下	m3		CB210110
第0004号施工P	吸出し防止材設置	m2		CB224720
第0005号施工P	殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし，機械積込，無し，3.3km以下，全ての費用	m3		CB227010
第0006号施工P	上層路盤(車道・路肩部) 再生粒度調整碎石 RM-40，mm，mm，mm，120 mm，1層施工，全ての費用	m2		CB410040

使用機械の機種・規格及び施工方法は特記仕様書等で定めのある場合を除き、請負者の責任において任意で定め施工すること。ただし、使用機械は、排出ガス対策、低騒音・低振動型建設機械を原則とし、機種や規格については、施工計画書等に明記すること。

1. 数量総括表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	積算数量	摘 要
河川土工	土工	掘削	小規模	m3	11.2	10	
		埋戻し	小規模	m3	8.3	10	
		残土処分	11.0km以下	m3	11.2	10	
護岸 補修工	コンクリート 柵板設置	H形鋼建込(2500)	H100*100*2500	本	19	19	道路側
		コンクリート柵板設置(300)	3段 995*300*60	m	19	19	道路側
		吸い出し防止材設置	t=10mm	m2	17.1	17	道路側
		H形鋼建込(1500)	H100*100*1500	本	17	17	民地側
		コンクリート柵板設置(400)	1段 995*400*60	m	16	16	民地側
	撤去工	構造物撤去	無筋コンクリート	m3	1.1	1	
舗装工	間詰め 舗装工	路盤工	RM-40、t=120	m2	20.2	20	

2. 河川土工

種 別	算 式	数 量
1. 土工		
掘削	断面図（図面2/3）より $V = 0.50 \times 9.0 + 0.56 \times 9.3 + 0.15 \times 6.0 + 0.56 \times 1.0 = 11.2$	11.2 m3
埋戻し	断面図（図面2/3）より $V = 0.39 \times 9.0 + 0.44 \times 9.3 + 0.05 \times 6.0 + 0.44 \times 1.0 = 8.3$	8.3 m3
残土処分	掘削数量より $V = 11.2$	11.2 m3

3. 護岸補修工

種 別	算 式	数 量
1. コンクリート柵板設置		
H形鋼建込 (2500) 道路側	※施工済み箇所は既存物利用 N= 19	19 本
コンクリート柵板設置 (300) 道路側3段	※施工済み箇所は既存物利用 L= 19.3	19 m
吸い出し防止材設置	※道路側の柵板背面 A= (0.3*3)*19 17.1	17.1 m2
H形鋼建込 (1500) 民地側	N= 17	17 本
コンクリート柵板設置 (400) 民地側1段	L= 16.3	16 m
2. 撤去工		
構造物撤去	既設300B側溝 既存土留板 (道路側) 既存土留板 (道路側) V= (0.055*3.0)+(0.12*0.25*0.55*16)+(1.5*0.3*0.06*2*7) 既存土留板 (民地側) +(1.5*0.3*0.06*12)= 1.1	1.1 m3

4. 舗装工

種 別	算 式	数 量
1. 間詰め舗装工 路盤工	既設舗装と新設コンクリート柵板の間をすりつけ $A = 0.8 \times 25.3 = 20.2$	20.2 m2

工 事 特 記 仕 様 書

(趣旨)

第1条 この特記仕様書は、埼玉県土木工事共通仕様書に定めるもののほか、工事に関し必要な事項を定めるものとする。

(適用)

第2条 この特記仕様書は、次の工事に適用する。

- ・工 事 名 水角地内用水路補修工事
- ・工事箇所 春日部市水角地内

(施工時間)

第3条 施工時間は以下のとおりとする。

全工種：昼間

ただし、関係機関等から時間的制約条件を付された場合は、速やかに監督員と協議するものとする。

(安全管理)

第4条 施工にあたっては、特に下記の事項に注意し安全管理に努めなければならない。

- ①事前に保安計画図を作成し、その内容について監督員・関係機関と協議を行う。
- ②保安計画にあたっては、作業時はもとより作業時間以外についても道路使用者の安全を十分確保すること。また、歩行者の誘導方法も計画すること。
- ③施行中は交通整理員を適正に配置し、交通に支障を及ぼさないように努めなければならない。また、特に隣接地住民の出入りについては、事前に十分調整を行い、工事を進めること。

(共通事項)

第5条 受注者は、「資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）」等に基づき、次の対象工事について、工事着手前に本工事に係る「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」を建設副産物情報交換システム（COBRIS）により作成し、施工計画書に含め各1部提出する。

また、工事完成後速やかに計画の実施状況（実績）について、「再生資源利用実施書」、「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を保存する。

○ 再生資源利用計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の土砂を搬入する工事
- ② 500 t以上の砕石を搬入する工事
- ③ 200 t以上の加熱アスファルト混合物を搬入する工事
- ④ 最終受注金額100万円以上の工事

○ 再生資源利用促進計画書（実施書）の作成対象工事（下記のいずれかに該当する工事）

- ① 500m³以上の建設発生土を搬出する工事

② アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、及び建設発生木材の合計で200 t以上搬出する工事

③ 最終受注金額100万円以上の工事

2 受注者は、施工計画書に建設廃棄物の処理計画を添付する。なお、建設廃棄物の処分にあたり、排出事業者は処理業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、同契約書の写しを処理計画に添付する。

また、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結する。

3 建設廃棄物については、「産業廃棄物処理におけるマニフェストシステム」に基づく、建設廃棄物マニフェストA票、B2票、D票、E票を監督員に提示し、確認を受けるとともに、D票、E票の写しを提出する。

(建設発生土の搬出)

第6条 建設発生土の受入地は、下記のとおり予定しており、受入地までの運搬距離を仕様書によるものとする。

○処分土

受入地：改良プラント「㈱春日部資材（春日部市下大増新田地内）」

※受注者は、別の改良プラントを選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

2 受注者は、500m³以上の建設生土を搬出する場合は、埼玉県土砂の搬出、たい積等の規制に関する条例（埼玉県土砂条例）に基づき、土砂搬出届出書を受理担当窓口へ提出する。

(建設廃棄物の再資源化等)

第7条 受注者は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）に基づいて、特定建設資材廃棄物を再資源化のための施設に搬入する場合は、適切な施設に搬入しなければならない。

なお、特定建設資材廃棄物とは、特定建設資材（コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト・コンクリート）が廃棄物となったものである。

2 受注者は、契約前に「分別解体等の計画等」について、文書で発注者に説明するものとする。

3 受注者は、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づき、以下の事項等を別紙「再資源化等報告書」に記載し、発注者に報告しなければならない。

- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了した年月日
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用

また、同条第1項に基づき、特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存しなければならない。

なお、資源有効利用促進法等に基づく再生資源利用実施書・再生資源利用促進実施書を作成している場合は、その写しを参考資料として報告書に添付するものとする。

- 4 受注者は、工事の施工に当たっては、平成14年3月18日に策定した「彩の国建設リサイクル実施指針」を遵守し、建設資材廃棄物の再資源化等に努め、廃棄物の減量を図らなければならない。

(再生資材の利用)

第8条 以下の再生資材を、備考欄の部分に利用すること。

資材名	規 格	備 考
再生粒調砕石	RM-40	舗装
石灰改良土	最大粒径 20mm	埋戻し

なお、現場から40kmの範囲の再資源化のための施設から供給が困難な場合は、新材への設計変更の対象とする。

(法定外の労災保険の付保)

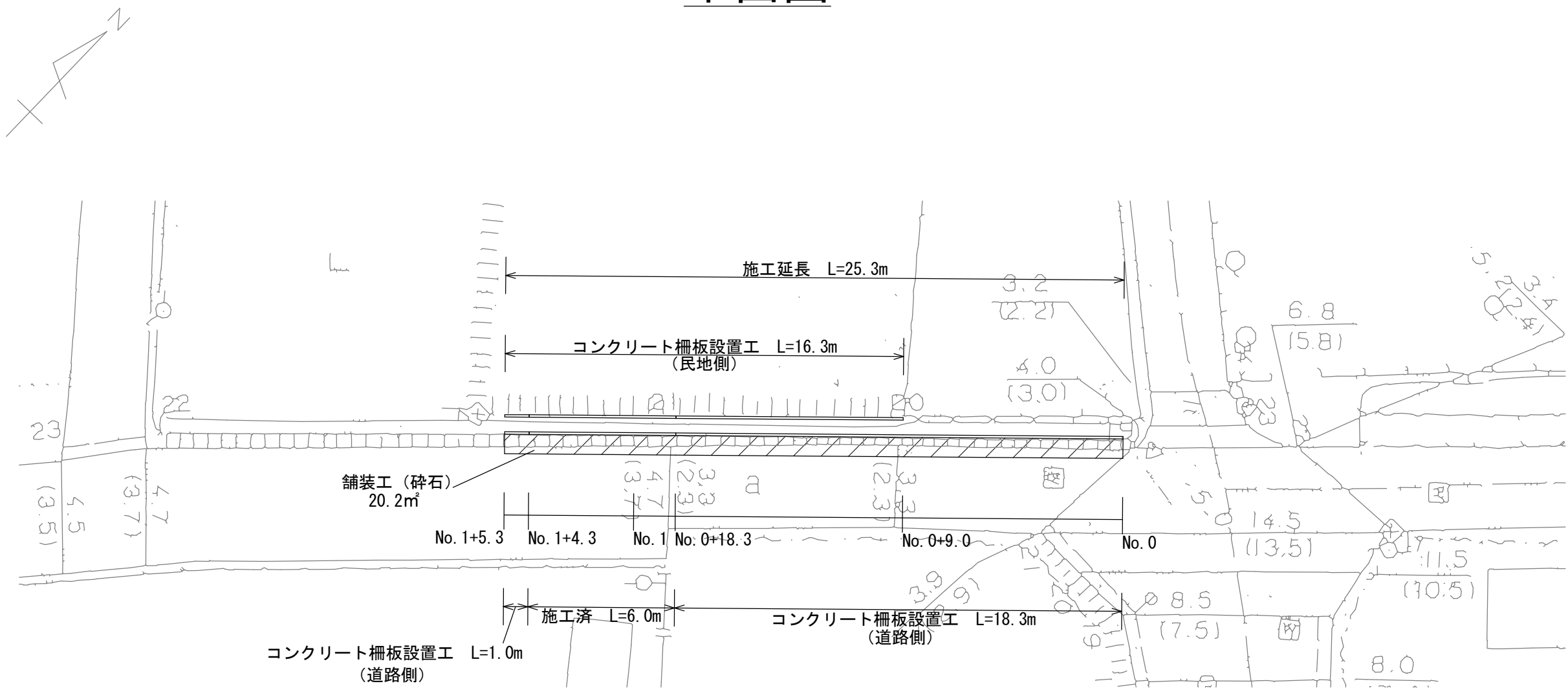
第9条 受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

(その他)

第10条 近隣において別の工事が施工される場合は、工程についてよく協議をして日程調整を行うこと。

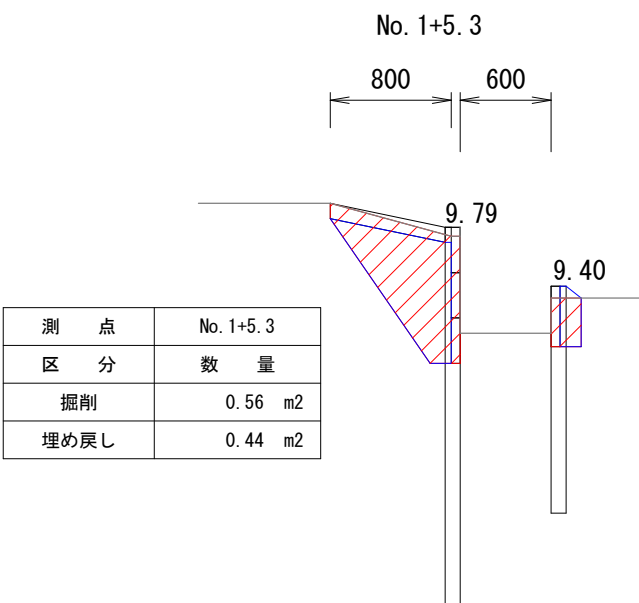
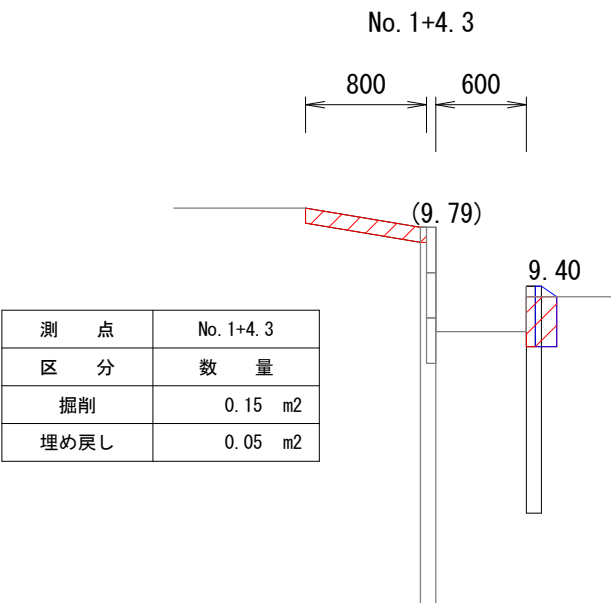
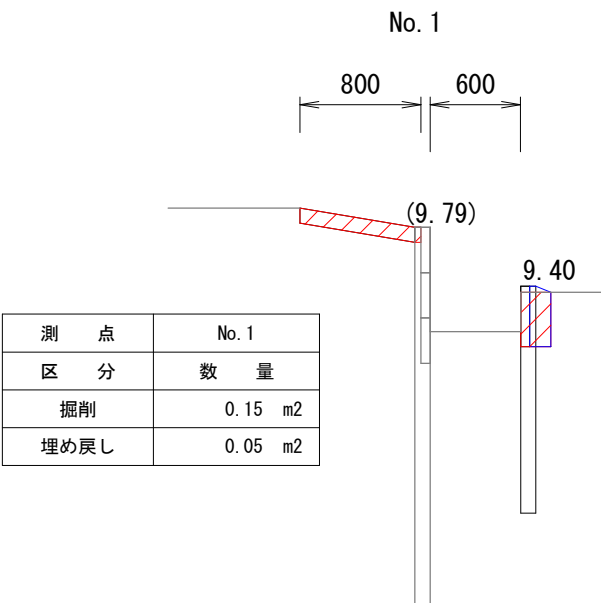
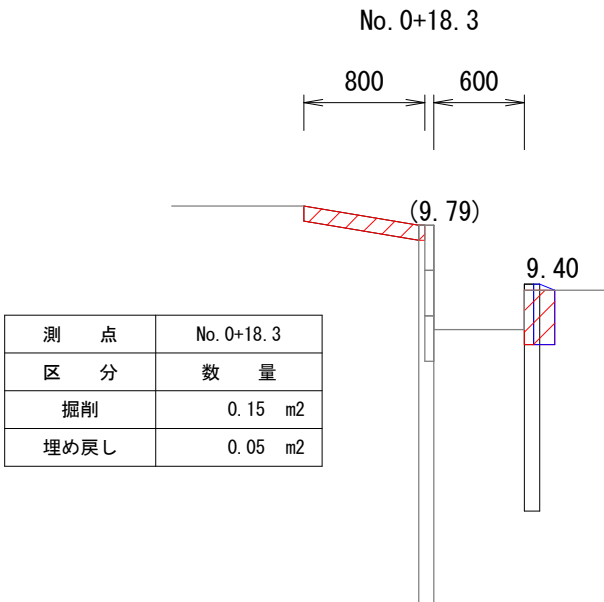
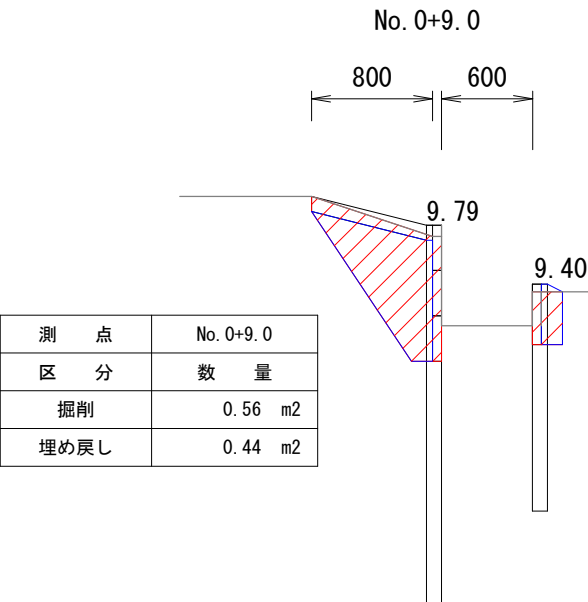
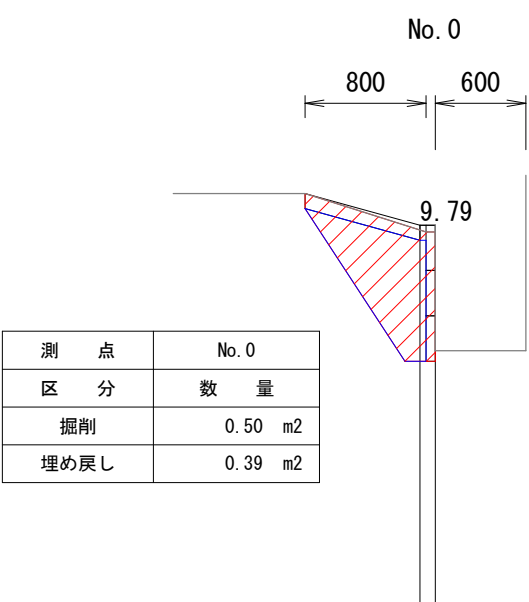
- 2 上記に定めるもののほか、必要に応じて監督員と協議の上、工事を実施するものとする。

平面図



図面サイズA3			
工事名	水角地内用水路補修工事		
河川名			
工事箇所	春日部市水角地内		
図面名	平面図		
縮 尺	1/200	図面番号	1/3
春日部市役所農業振興課			

断面図

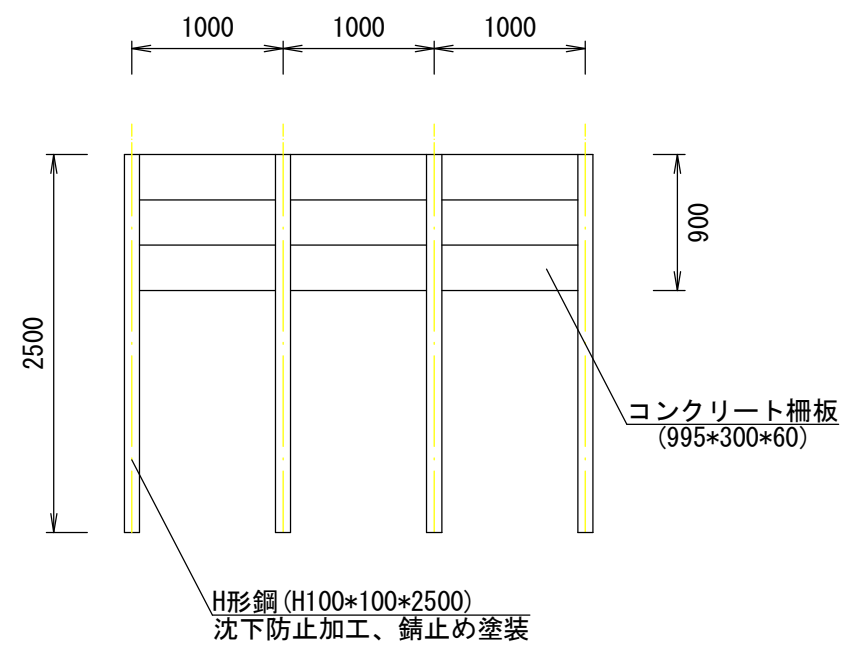


：掘削
：埋め戻し

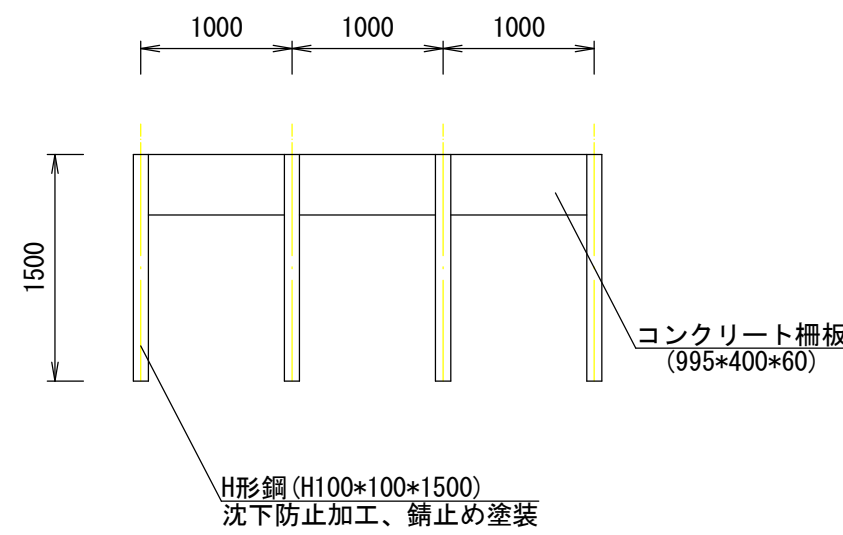
図面サイズ A 3			
工事名	水角地内用水路補修工事		
河川名			
工事箇所	春日部市水角地内		
図面名	断面図		
縮 尺	1 / 5 0	図面番号	2 / 3
春日部市役所農業振興課			

構造図

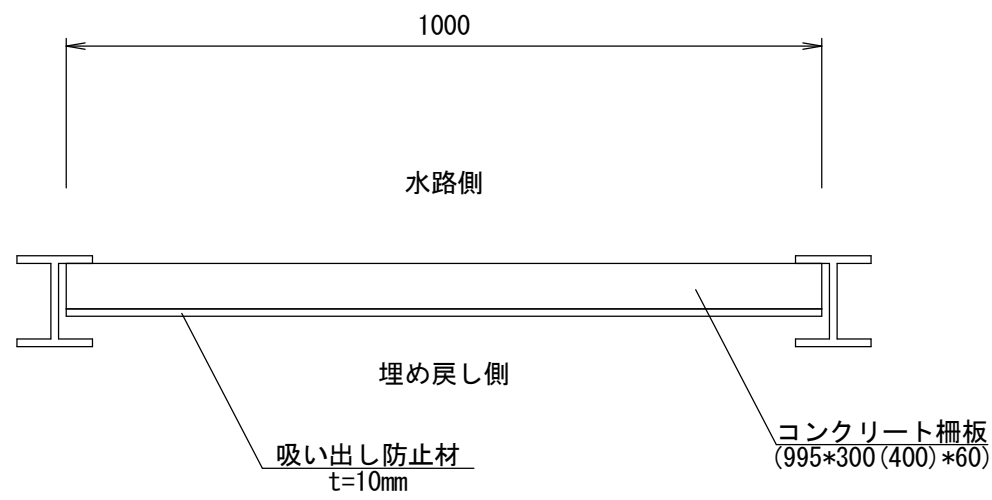
側面図（道路側） 1/50



側面図（民地側） 1/50



上面図 1/10



図面サイズ A 3			
工事名	水角地内用水路補修工事		
河川名			
工事箇所	春日部市水角地内		
図面名	構造図		
縮 尺	図示	図面番号	3 / 3
春日部市役所農業振興課			